

平成 25 年 3 月 30 日

「空手で一番つらかったこと」

西東京地区本部 浜田山支部

丸山 崇

私は弱い人間です。辛いことや苦しいことは大嫌い、そういうことから逃げてばかりの人生でした。要領だけは良かったこともあり、若いうちはこのような気持ちで過ごしていることにさほど疑問や不都合を感じることはありませんでした。しかし、子供ができ子供が成長していくにつれ、自分を変えたい、子供に自分のような弱い気持ちの人間になってほしくない、と強く思うようになってきました。何かを始めて、強い心を持った優しい人間になりたい。さて、どうしよう。色々調べた結果、そこに最高の出会いがありました。月心会の親子空手です。

それは、私が欲していたもの全てを与えてくれるものでした。肉体的に辛い稽古を手を抜かずに行うこと、自分に言い訳をして稽古を休まないこと等、どれも今までの自分にとって最も苦手な事ばかり。「空手で一番つらかったこと」は、私にとっては空手そのものだったのかもしれない。

今までの自分だったら間もなく挫折したかと思いますが、今私の隣には息子がいます。時に理不尽に大声を出す父親に泣きながらも付いてきてくれた息子には心から感謝です。親子で大きな目標としていた初段。合格の暁には、お前のおかげでお父さんは変わったんだよ、と感謝の気持ちを伝えたいと思っています。

最後になりますが、宗家ならびに市川本部長、畠山支部長、黒帯の皆様方、共に汗した練習生の方々に心から感謝申し上げます。どうもありがとうございます。これからも、どうぞよろしくお願い致します。